


学年	5年	教科	特活	単元名	自分の学校を紹介しよう
学校名	村山市立楯岡小学校			実践者	齋藤 友貴
本時の学習活動	他県の学校に、自分達の学校を紹介する。				
ICT活用のねらい	【1 教員による活用】		【2 児童生徒による活用】		
1-1	1-1 興味関心を高める	1-2 課題を明確につかませる	2-1	2-1 情報を収集・選択する	2-2 文や図表にまとめる
2-1	1-3 思考や理解を深める	1-4 知識の定着を図る	2-3	2-3 発表したり表現したりする	2-4 知識や技能の習熟を図る
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	iPad スタンド テレビ AppleTV Skype (使用App)				
学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> グループ学習	<input type="checkbox"/> 個別学習		
活用の場面・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 導入の場面	<input type="checkbox"/> 展開の場面	<input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面		
	交流学習の導入として、グループごとに iPad で撮影した写真を編集し、相手先の学校に電子メールで送付し合う。送られてきた写真をもとに、お互いの学校について質疑応答をする。				
活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが撮影した写真をもとに紹介するようにする。 Skype で交流することで、質疑応答をリアルタイムでできるようにする。 				
児童生徒の学びの様子	タブレットPCを使うことで、画面を見てのグループ交流や、写真の編集が容易になり意欲的に活動していた。同じような場面（グラウンドや校歌、校長先生）の写真を送り合うことで、お互いの学校の違いに気づき、相手の学校に対する興味が高まった。				
活用の様子 (写真)					
実践を通して感じたこと	<p>写真や動画の撮影、編集、グループ交流といった活動が、一台で可能なタブレットPCは非常に利便性のあるものであった。また、特別な指導が無くとも児童が操作できるという点でも、タブレットPCの活用は有効だと感じた。</p> <p>交流の場面では、その場で生まれた疑問にもすぐに答えることができるので、盛り上がりのある活動ができた。</p>				